

講 評 (案) 概 要

意見及び指摘事項等（抜粋）

〔全般〕

（小施策の展開・対応策）

- ・表現が抽象的なもの、重要な視点が記載されていないものなどが見受けられた。

（優先順位の設定）

- ・貢献度については、「高」「中」「低」を同じ割合で設定したが、法律等の定めにより必ず実施しなければならない義務的業務等を「高」や「低」とすることに違和感がある状況が見受けられた。

（経営資源の配分）

- ・業務の内容に比し、業務量が大きいと考えられるものに関しては、業務そのものの見直しや、ICTの活用、民間活力（企業、NPO及び地域団体等）の活用などを考える必要がある。

〔個別〕

（農業の振興）

- ・方向性を打ち出しにくい現状は理解できるが、大野城市における農業のあるべき姿を定めることが望ましい。また、市民農園事業に関し、市民農園として維持する農地の公益的機能と、利用者の受益の程度を勘案し、利用者が負担する費用の範囲などについて検討することが望ましい。

（多文化共生と国際交流の推進）

- ・在住外国人の支援のためには、日常的な困りごとがなく、地域住民との共生が実現できることが必要と考える。

（子育て世代への包括的な相談・支援体制の充実）

- ・効果的に事業を実施するため、産院でも実施している母親教室などの各種教室については、市で行う必要があるのか精査することが望ましい。

（保育定員の拡充と保育所・幼稚園等関係事務の適正な実施）

- ・待機児童解消に向けた定員拡大のためには、施設整備だけでなく、保育士等人材の確保も必要である。処遇改善だけでなく、保育士等の業務負担軽減や職場環境の改善につながるような対応策も検討することが望ましい。

（いじめ対策や不登校支援の実施）

- ・いじめや不登校が発生した場合の対応策について、児童生徒が多様な選択肢が選択できるような方向性についても検討することが望ましい。また、未然防止のための対応策及びその成果についても整理することが望ましい。

	小施策名称	小施策の展開・対応策	優先順位の設定	経営資源の配分
1	パートナーシップによるまちづくり	要検討	そのまま	そのまま
2	都市内分権の推進	要検討	要検討	そのまま
3	農業の振興	要検討	そのまま	要検討
4	商工業の振興	要検討	要検討	その他
5	地域資源の活用によるまちの魅力向上	要検討	その他	その他
6	多文化共生と国際交流の推進	要検討	その他	要検討
7	生涯学習施設の計画的な更新	要検討	そのまま	そのまま
8	心のふるさと館の活用	要検討	そのまま	その他
9	子育て世代への包括的な相談・支援体制の充実	要検討	そのまま	その他
10	親子の健康支援の推進	要検討	そのまま	その他
11	保育定員の拡充と保育所・幼稚園等関係事務の適正な実施	要検討	そのまま	その他
12	安全で安心な保育環境の維持と教育・保育の質の向上	その他	そのまま	そのまま
13	確かな学力と豊かな人間性の醸成	要検討	そのまま	その他
14	いじめ対策や不登校支援の実施	要検討	そのまま	その他
	要検討	13	2	2